

# 2019年度 第1回 映画上映会 & ミニトーク 報告

2019/6/29(土) 13:30~16:15/18:30~20:40 開催

2回上映 ※1回目はミニトークあり

のべ130名に  
ご参加いただきました!

松山市男女共同参画推進センター・コムズ 5階大会議室

今年度も、男女共同参画週間に合わせて、映画上映会 & ミニトークを開催。

上映作品は「ドリーム」、ミニトークでは、田中菜さんをゲストにお招きしました。

進路選択、キャリア教育、社会人の学び直しなど、ライフステージに応じた多様な「学び」と生き方について、考えるきっかけを教えてくださいました。

この映画上映会は、内閣府男女共同参画局が主唱する **男女共同参画週間(6月23日~29日)** に合わせ開催しております。

今年度の週間テーマは「学び」。  
キャッチフレーズを、

**「男女共同参「学」**

**「知る 学ぶ 考える 私の人生 私がつくる」**

と掲げ、「学び」を通じて、男性も女性も、ひとりひとりが多様なライフキャリアの形成と選択ができる社会の実現に向けて、啓発が行われました。

内閣府男女共同参画局

検索



# 【映画上映会】

# 上映作品 「ドリーム」



## 【Story】

1961年、アメリカはソ連との熾烈な宇宙開発競争を繰り広げていました。

NASAのラングレー研究所には、ロケットの打ち上げに欠かせない“計算”を行う優秀な黒人女性たちのグループがありました。

そのひとり、天才的な数学者キャサリンは宇宙特別研究本部のメンバーに配属されます。

しかし、そこは白人男性ばかりの職場で劣悪な環境だったのです。

仲の良い同僚で、管理職への昇進を願うドロシー、エンジニアを目指すメアリーも、理不尽な障害にキャリアアップを阻まれていました。

それでも仕事と家庭を両立させ夢を追い続けた3人は、国家的な一大プロジェクトに貢献するため自らの手で新たな扉を開いていくのです。

人種差別や女性差別が横行する時代のなかで、理不尽な障害に立ち向かう彼女たちの功績を描いた、実話に基づく感動のサクセス・ストーリー。

職場での奮闘はもちろん、家族や恋人とのやり取りも見どころでした。



# 【ミニトーク】

## 【トークゲスト】

松山市登録 NPO 団体 ピアリンク in えひめ 代表

臨床検査技師 **田中 菜** さん

### 【演題】

## 自己肯定感とキャリアアップ。 ～女性として母として社会人として …日常の中で踏み出す、人生の一步～



### 【プロフィール】

大学在学時の 2007 年から愛媛県一期生の思春期ピアカウンセラーとしてピアカウンセリング活動を開始。県内高校・大学を中心に妊娠や性感染症などの正しい知識を伝えながら、自分の心を大切にする生き方についての社会活動に従事。

卒業後 2012 年に NPO ピアリンク in えひめを設立。臨床検査技師として市内病院で働きながら、後輩たちの活躍をサポートする傍ら、リフレッシュママクラス®を開催するなど子育て中の母親が自分を愛する心を育てるためのイベントを開催してきた。5 歳男児の母。



田中さんが活動している“ピアリンク in えひめ”ってどんなところ？

ピアリンク in えひめ（松山市登録 NPO 団体）

ありのままの自分を「好き」と感じ、自分らしくイキイキと暮らしてほしいという思いで、ピアカウンセリングを使った活動を行っておられます。

①ピアカウンセラーによる出前講座（思春期世代向け）

セクシュアリティについて正しい知識を提供するとともに、自分の心や体、現在・過去・未来の生き方を考えます。

②リフレッシュママクラス®、ピアママクラスの開催（子育て中のママ向け）

仲間と共に自分と向き合う時間を持つことで、ありのままの自分を自分自身で愛する心を育てます。

ピアカウンセリングとは？

励まし合う活動ではなく、「ありのままの自分を認める」ことを、仲間(=peer)がサポートするというものです。

ピアリング in えひめの活動から、田中さんが「ありのままの自分を認め、好きになること」をととても大切にされているのがわかります。



「ありのままの自分を認める」と、どんな良いことがあるの？

自己効力感と自己肯定感が有効に作用することで、自己実現や目標達成に繋がります。

「できる・できた」  
を繰り返す



自己効力感 UP

そんな自分が好き  
と、感じられる



自尊感情(自己肯定感) UP

行動の変化、習慣の変化  
に繋がる



目標達成、自己実現

田中さんが大切にされている「ありのままの自分を認め、好きになること」、すなわち「自己肯定感」は、生き方にも影響を与えることがわかります。

自己肯定感が高いと、行動を起こしやすく、継続しやすいのです。

人は、機会があれば自分自身の問題を解決する能力を持っています。問題に直面した時、自分を助けてくれるのは自分自身。自己効力感・自己肯定感を育て、目標達成や自己実現に繋げていきましょう！  
さらに、ありのままの自分を支えてくれる仲間(=peer)を増やすことが、目標達成の近道となります。

## キャリアとは？

職業・技能上の経歴、仕事をした経験・その過程、人生における役割、働く意味



田中さんにとってキャリアとはなんですか？

保有資格や経験(仕事・プライベートなど様々)を振り返ると…

**「キャリアとは、私の人生そのもの」**

なぜなら、生きてきたすべての経験がキャリアになるからです。



★では、皆さんにとってのキャリアとは何でしょうか。自身の経験や生き方を振り返ってみましょう。

# 【アンケートより】

参加者から、多くの感想をいただきました！

- パワーと元気をもらった。背を押してもらったようだ。(30代女性)
- 前半のトーク、ともすると自分を否定しがちな性格の私にとって参考になる点がたくさんありました。後半の映画、宇宙開発の歴史やパイオニア的な女性に関心があるのでとても見応えがありました。(40代女性)
- 女性差別、黒人差別と二重の差別に会いながらも、明るく前向きに生きていかれた三人の女性たちに、その他の方々に感動しました。(40代女性)
- 自分をもっと好きになれました。(50代女性)
- 差別にとらわれず、一人の人間として生きて行こうとする人間の姿に感銘を受けた。私の中にある何らかの差別も見つめて乗り越えていきたい。(50代女性)
- この映画が示唆することはたくさんあると思うのですが、それを子どもたちに伝えていかないといけないなと思います。(50代女性)
- 松山にも、自分が知らないだけで、様々な活動をしている方々がいらっしゃることを知りました。良い刺激になります。(50代男性)
- めげずに頑張ろうという気持ちになれました。(60代女性)
- 「信念を持って生きれば道は開ける開いていける」と痛感。「自己肯定感」そのもの。講話と合わせて良かった。(60代女性)
- 私の人生は私のもの、しっかりその人生を生きましよう、というメッセージをトークからも映画からもいただきました。(60代女性)
- ピアリンクインえひめ、初めて知りました。できるを積み重ねることが、自分を好きになることへ繋がるのだと知りました。(60代女性)
- 映画に大変感動しました。(60代男性)
- 過去の人種差別の実態の一部が分かりました。(60代男性)
- 黒人の差別は知ってはいたが、映像を見て、心が痛む思いだった。(70代女性)
- ピアリンクについて初めて知りました。映画は、人間の可能性が無限大だと感じることができ、これからの活動も期待してます。とても感動しました。あきらめない事が大切。(70代女性)

小雨という天候の中、多くの方にご参加いただきました。ありがとうございます。

次回は11月の**「女性に対する暴力をなくす運動週間」**にあわせて、映画上映会&ミニトークを開催いたします。ご参加をお待ちしています！

